

くびらくも



4年生「命の授業」に参加して

10月19日（木）3・4時間目に、4年生が「命の授業」を行いました。
講師としてお二人の助産師さんをお招きしました。

前半の部分では、赤ちゃんがお母さんのお腹の中で一体どのように生活しているのか、そして、どう産まれてくるのか、お話をうかがいました。女性が一生をかけて500個しか作れない卵子、その大切な1つの卵子と、男性の2億分の1の精子が、奇跡の出会いをしてできた受精卵の話。参加してくださった保護者の方からは、出産の大変さと無事に生まれてきてくれたことへの感謝や喜びについてお話ししていただき、子どもたちもとても興味をもって授業に参加することができました。

後半の部分では、4つの体験をさせていただきました。1つ目は、お腹の中での胎児の成長の様子や重さを人形で体感しました。2つ目は、お母さんの子宮をイメージした袋に入れて、お腹の中の疑似体験をしました。3つ目は、赤ちゃんと一緒に重さの人形を抱かせてもらいました。4つ目は、胎児と同じ重さの砂袋を身に付けて階段を歩く体験をしました。当日参加していただいた、保護者の皆さんには、体験をお話しいただいたり、体験学習のお手伝いをしていただいたりしました。すばらしい授業をありがとうございました。

三校合同あいさつ運動実施！（10/10）



4年福祉実践教室（車いす）（10/4）



小学校体育大会（10/14）



師崎祭礼（10/15）

資源回収について

11月20日（月）に資源回収を行います。
ご協力をお願いします！
詳しくは、チラシをご覧ください！

授業公開日(10/19)

4年「命の授業」



学校保健委員会

「からだ元気！歯ッピー大作戦」



文化庁巡回公演

ワークショップ(10/17)

オーラJのみなさんが来て、ワークショップを開催してくださいました。全校児童が、琴を実際に弾かせてもらったり、模擬ではありますが尺八の音を出す体験をさせてもらいました。どの子も、目を輝かせて取り組んでいました。12月4日(月)の本公演当日が待ち遠しいです。保護者や地域の皆様もぜひご参加ください。



10/16朝会講話より

小惑星通過！

先週の金曜日の中日新聞に、「地球から**4万キロ 小惑星無事通過**」という見出しの記事がありましたので、紹介します。

今から5年前に、ある小惑星が発見されました。名前は、「2012 TC4」アメリカのハワイ大学の展望台で発見されました。

大きさは、直径が30mぐらいで、太陽の周りを1年と8ヶ月で1周するのだそうです。

実は、この小惑星が地球にぶつかる恐れがあるので、ずっと見守っていたということです。その小惑星が、12日(木)午後2時45分頃、地球の南極からほんの4万

kmしか離れていないところを通り過ぎていきました。

えっ？ほんの4万km？とおっしゃるかも知れませんが、よく考えてみてください。地球の赤道の1周の長さが4万kmです。気象衛星「ひまわり」よりちょっと遠いぐらいです。本当に地球のそばをかすめて飛んでいったんだということが言えますね。

ちなみに、2013年2月ロシアのチェリャビンスク上空で爆発した隕石が、この小惑星と同じ程度の大きさのものなんだそうです。かすめていってくれて、本当によかったですね。

私たちの生活の安全を守るためにも、これからもますます観測技術を高めていってほしいと思いました。